



みさき

21号

美咲町議会だより

主な内容

福祉施策に質問が集中

議員13人が一般質問

6～18

厳しい意見がたくさん

議会傍聴記

19

各委員会が全国の先進地を行政視察

各委員会視察研修報告

20～22

6月定例会の報告

6月14日から25日まで

定例会が招集され、22年度一般会計補正予算など予算4件、条例6件、専決処分6件、その他7件の議案が上程された。

条例の改正

条例の改正が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

教育・福祉分野の基金創設

◎富田泰司教育福祉振興基金

故富田泰司氏の遺志により遺贈された寄付金を、教育・福祉分野の振興を図るための基金として創設するため条例を制定する。

米粉製粉・パン焼き施設が完成

◎倭文西米粉パン工房設置および管理に関する条例

米消費拡大、地産地消、特産品開発、地域活性化などの拠点施設として、米粉製粉施設およびパン焼き施設が倭文西地区に完成したため、新たに条例を制定する。

条文の一部を改正

◎財産の交換・譲与・無償貸付けなどに関する条例の一部改正
国から示された準則のとおりに条文の整備を行う。

利益の運用方法を改める

◎介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の一部改正
基金の運用から生ずる利益を一般会計で運用していたものを改めて、介護保険事業特別会計で運用する。

条文の一部を改正

◎国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法を一部改正する法律の施行に伴い、条例の一部改正が必要となったため。

町営火葬場の料金体系を変更

◎町営火葬場設置および管理に関する条例の一部改正

町営火葬場を利用する町外者の料金が近隣市町村と比較して安いいため、利用料金を引き上げて料金体系を変更する。

市・町の分担金割合を変更

◎久米老人ホーム組合規約の一部変更

養護老人ホーム静香園を運営する久米老人ホーム組合に対する津山市・久米南町・美咲町からの分担金割合を、入所人数などの実態に合わせたものに變更する。

専決処分

21年度一般会計補正予算など6件の報告があり、審査の結果、問題ないものと認め異義なく承認した。

人事案件

固定資産評価員の選任
美咲町飯岡
鳥越道正氏
(税務課長)

町外者火葬場使用料

	旧料金	新料金 (7月1日～)
12歳以上	25,000円	40,000円
12歳未満	15,000円	30,000円
死産児	10,000円	20,000円



完成した米粉パン工房（北地内）

陳情・請願・要望

敬称は省略させていただきます。

備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める請願

〔紹介議員：梁山朝子〕

〔産業建設常任委員会付託〕

岡山県農民運動連合会

会長 坪井貞夫

米価の下落に歯止めがかかっていない現状において、農家の安定経営にはかせないものであり、全会一致で採択とした。

EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願

〔紹介議員：梁山朝子〕

〔産業建設常任委員会付託〕

岡山県農民運動連合会

会長 坪井貞夫

農産物の輸入自由化は国産農作物の価格暴落を引き起こし、食料自給率向上の妨げとなることから全会一致で採択とした。

落を引き起こし、食料自給率向上の妨げとなることから全会一致で採択とした。

採択とした。

「永住外国人地方参政権付与」反対についての陳情

〔総務常任委員会付託〕

日本の子供の

未来を守る会

下山京子

国の進むべき方向を示す参政権は、国民固有の権利であり、国籍法に定める帰化によって得られるべきものとして全会一致で採択とした。

選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情

〔総務常任委員会付託〕

日本の子供の

未来を守る会

下山京子

夫婦が同じ姓を名乗ることで家族の連帯感を強くし、世情を安定させ、子どもの明るい未来にもつながる。一部異論もあったが賛成多数で採択とした。

採択とした。

柵原文化センターの使用、管理、運営に関する要望

〔民生教育常任委員会付託〕

柵原文化協会

会長 福田久夫



施設の老朽化にどう対応するのか
(柵原文化センター)

要望の内容は、町執行部において要望者に対して回答がなされているため賛成多数で趣旨採択とした。

趣旨採択とした。

工事量の確保等についての要望

〔産業建設常任委員会付託〕

美咲町建設業協会

会長 浅津真悟

地元企業の健全な経営につなげていくべく全会一致で趣旨採択とした。

議員発議

備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める意見書

2008年産を含む30万トン相当の備蓄米を適正な価格で買い入れること。

EPA・FTA推進路線の見直しを求める意見書

EPA・FTA推進路線を見直すと共に、日豪交渉を中止し、「アジア太平洋自由貿易圏」による農作物の関税撤廃を行わないこと。

永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書

日本国籍を持たない永住外国人への地方参政権付与に関する法律を制定しないこと。

選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書

日本のよき伝統である戸籍制度、家族制度を瓦解させ、国の将来に重大な禍根を残しかねない「夫婦別姓制」を導入しないこと。

これら内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

常任委員会から

総務 故富田泰司氏から 多額の寄付金

22年度一般会計など

補正予算、条例、陳情など付託された10件を審査した。予算2件および条例6件は全会一致で承認。陳情1件は全会一致、1件は賛成多数で採択とした。

◎一般会計補正予算

歳入歳出に一億七千百八十六万円を追加し、総額百十一億千七百三十九万円とするものの。

【主な歳入】国庫支出

金二千七百七十六万円、県補助金千五百四十四万円、寄付金五千二百九十九万円、基金繰入金千二百八十八万円、繰越金四千四百九十二万円、町債二千七百八十八万円。

【主な歳出】財産管理

費五千二百九十九万円は富田泰司教育福祉振興基金積立金、企画費二百六十六万円は協働のまちづくり事業防犯灯交付金追加分。

◎用地取得事業特別会計補正予算

小原住宅団地の下水道公共マスなどの移設工事を行うため、百万円の予算を追加する。

■主な質疑応答

【総務課】

問 故富田泰司氏から受けた多額の寄付金は、今後どのように活用していくのか。

答 ご本人の遺志により教育・福祉への活用が望まれている。

る。条例に基づき運用方法を検討していく。

問 米粉パン工房の土地建物は購入すべきでは。

答 購入せず、無償貸与を受けて地元管理を基本とする。

【企画財政課】

問 電子入札に移行したことによるトラブルはないか。

答 図面閲覧など役場での原本閲覧にするなど、早い対処を心

がけている。

【情報交通課】

問 柵原総合支所車庫移転の状況は。

答 建築工事は完成したが、舗装の予算が付かず、まだ未使用の状態。

【税務課】

問 扶養控除は今後どうなるのか。

答 特定扶養・扶養控除は廃止となる。しかし、65歳以上は今までどおり。



米粉パン工房を視察する総務委員（北地内）

民生教育

中央中学校用地費など 5300万円を追加

付託された議案を審査し、予算案3件は全会一致で承認。要望1件は、全会一致で主旨採択とした。

◎一般会計補正予算

特別養護老人ホーム白寿荘の3階に保育施設を設置する交付金千万円、地域人材育成事業五百七十七万円の増額。

福祉施設あさひが丘の施設を、指定管理から無償貸与にしたため、管理費百三十二万円の減額。

旭児童館のエアコン購入、柵原児童館の舗装工事・備品購入に四百五十万円。

中央中学校の建設事業五千三百四十四万円は、不動産評価委託料、土地購入費、建物の移転補償費などの追加。

放課後子ども教室推進事業百三万円は、柵原児童館で体験学習など行うもの。

■主な質疑応答

【保健福祉課】

問 地域人材育成事業とは何か。

答 町内の介護施設で2級ヘルパー四人分の講座受講料、賃金などに充てるもの。

県からの全額補助事業である。

【健康増進課】

問 子宮頸がんを予防するワクチンの予防率は70%と聞かれていたが、医薬品メーカーの発表した実態と違うのではないか。

答 予防率は、医薬品メーカーによって異なっている。



国民文化祭の町内メイン会場となる棚田公園（大井和西地内）

【住民課】

問 子ども手当の支給が始まったが、問題はないか。

答 児童手当の対象者以外の世帯は、申請が必要。

問 町から案内を出しているが、未申請の人が若干おられる。

【教育総務課】

問 小・中学校の単独町費による、非常勤講師および嘱託支

援員の人件費は。

答 非常勤講師、嘱託支援員の人件費は合わせて約二千六百八十万円である。

【生涯学習課】

問 国民文化祭の開催が近くなってきたが、準備が遅れているのでは。

答 資料収集など準備している。7月には各地域で実行委員会を開き、進めていく。

産業建設

旭地域休憩所整備に

7200万円

付託された一般会計

補正予算案件など5件を審査した結果、予算案は全会一致で承認した。

請願2件は採択、要望1件は趣旨採択、町道の変更1件は現地を確認して認定とした。

◎一般会計補正予算

環境保全対策費百万円は太陽光発電・エコカー補助金。特産物振興費二百二十七万円はPR用ビデオネ出荷箱二万箱の制作費。

休憩所整備事業費七千二百万円は、旭地域の休憩所整備。社会資本整備総合交付金事業四千三百十四万円は、町道瓜畝線（原田）改良工事費と柵原鉾山公園鉄道レール延長に伴う用地費。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

問 水道料金は、来年から25%程度値上げとなるのか。

答 内容については現在検討中である。

問 下水道工事の入札参加資格は変更するのか。

答 まだ決定していないが、検討中である。

問 美咲霊園の管理料金は変更されたのか。

答 これまで年間管理料金六千円であったものを、永代管理料金十万円に変更した。

【産業観光課】

問 旭地域に建設を予定している、農産物など直販施設を備

えた休憩所「みち停」の計画は進んでいるか。

答 地元産野菜の生産組合設立、建設予定地などは、JAつやまおよび地元と協議中である。

問 岡山県がヌートリアの実態調査を実施したが、報告はあったのか。

答 旭、中央、柵原の3地域を調査した結果、373カ所の生息実態を確認したとの報告があった。

問 米粉を利用できる補助金はあるか。

答 米消費拡大事業の中で、材料費、指導者への講師料などに対する県からの補助金がある。産業観光課で受け付けて県へ申請する。



“美咲ぶどう”で美咲町を全国にPR

問 答

一 般 質 問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

公共下水道の計画と進捗状況は

柵原北部地域は合併浄化槽で対応

答弁



下山和由 議員

問

旧柵原町では、南和気・北和気・塚角地区に農業集落排水整備が計画されていた。この計画は美咲町に引き継がれていたが、どうなっているのか。

答

赤堀上下水道環境課長

平成5年に、柵原町公共下水道整備構想を策定し、平成14年に見直しをしたものが、合併時に美咲町に引き継がれた。
その後、国・県から人口減少などの変化を

問

踏まえ見直しの指導があった。計画に入っていた南和気・北和気・塚角地域を下水道整備計画からはずし、個別の合併処理浄化槽で対応する予定にしている。

答

定本町長

下水道認可区域外の地区における合併処理浄化槽設置者に対しては、今後、町全域で均衡ある汚水処理施設整備を図るためにも、補助金の増額について現在検討している。

答

赤堀上下水道環境課長

状況は。
22年3月末で39・6%。吉ヶ原地区の供用開始は、23年度から。藤原地区においては、24年度以降となる。

山林荒廃に向けた町の対策は

問

山林の荒廃が進んでいるが、町有林約411ヘクタールの管理保全はできているのか。

答

難波企画財政課長

現在の木材価格低迷で、町有林全体の管理は難しい。柵原地域内の町有林については、森林組合の緑の担い手対策事業で6ヘクタールほどの間伐を負担金無しで予定している。

問

荒廃した民有林林道開設の対応は。

答

矢木産業観光課長

林道改良は、県の小規模林道事業の採



山林の整備は緊急の課題

問

利用者から、エコングラウンドゴルフ場内、洋式トイレ新設の要望がある。また町外利用者から、利用料金が高いとの声があるが。

答

菅尾生涯学習課長

今後検討していく。利用料金は一回につき町内者三百円、町外者五百円であるが、町内者二千円、町外者三千円の年会費を利用してほしい。

グラウンドゴルフ場の利便性を高めよ

の利便性を高めよ

の利便性を高めよ

の利便性を高めよ

町政を

質問

電子入札の

トラブルを防げ

円滑なシステム運営

に努める

答弁



日神山定茂 議員

問

町は透明性の確保と事務作業の効率化を図るため、本年4月から電子入札を導入した。

しかし、これまでに行われた入札の中で一部、不手際があった。チェック体制を整えれば防げるミスではないか。トラブル防止に向けて、今後どのように対応するのか。

答

定本町長

4月以降33件の電子入札を実施した。発注者・入札参加業者

問

施工業者が決定した段階で、下請け工事、資材調達などは町内業者への優先的な発注を指導すべきではないか。

答

定本町長

下請け工事などは地元業者優先をお願いしている。

AEDの点検は

大丈夫か

問

大阪市において心肺停止状態の男性にAEDを使用した

答

村島健康増進課長
現在、町の施設

が、正常に作動せず搬送先の病院で死亡した事例があった。過去10年で308件の不具合が報道されている。町内に設置されているAED機器の点検はどう

で管理しているAED機器は17台である。国からの指示もありバッテリー、電極パッドなどの交換・点検を随時行っている。今後は、機器の日常点検に加えて使用方法の普及・研修にも力を入れていきたい。



AEDの使い方を勉強中（江与味ふれあい会館）

問

合併後5年が経過するが、町内26カ所の選挙投票所、185カ所のポスター掲示板の見直しが行われていない。

期日前投票がかなり浸透してきている現状を踏まえ、投票率の向上と経費削減にむけて今後どう対応するのか。

答

定本町長

選挙投票所を15カ所に集約する案が出ていたが、結論に達していない。県・町の選挙管理委員会は、共に投票率の下落を心配している。今後は見直す方向で協議を進めたい。

質問

選挙投票所は見直すのか

選管と協議して見直す

答弁

「医療費のお知らせ」 その目的は 利用者の コスト意識を高める

答弁



角南憲一 議員

問

約百万円もの経費をかけて、国民健康保険医療費のお知らせを送付する目的は何か。具体的な成果はあったのか。

答

福田保健福祉課長
医療費に対する

コスト意識を高め、正しい受診を心がけて、医療機関への適正な認識を持つってもらうことを目的としている。しかし、事業効果を示せる状況にはないのが現状である。

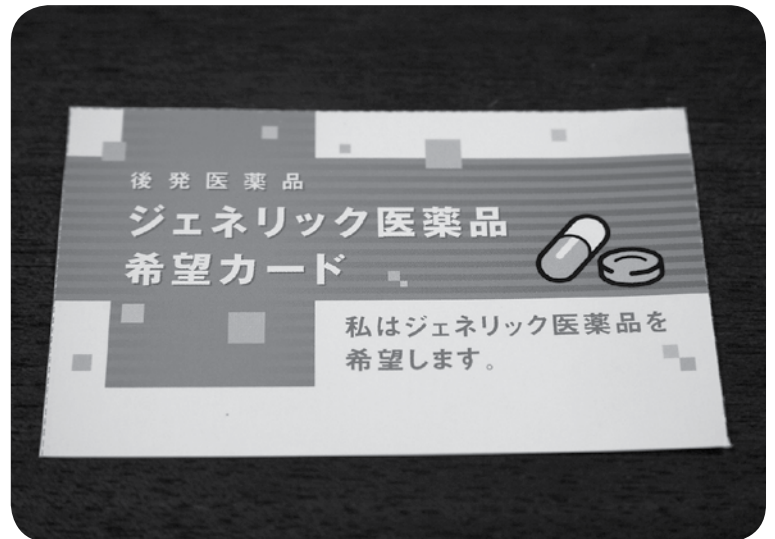
問

薬価引き下げのためジェネリック医薬品の活用を拡大させるべきではないか。

答

福田保健福祉課長
毎年10月1日の

保険証更新時に、ジェネリック医薬品活用を促すパンフレットを渡



“持ってますか？” ジェネリック医薬品希望カード

して啓蒙活動を展開している。医師・薬剤師にも相談してほしい。

※ジェネリック医薬品とは

医療機関で処方される薬（医療用医薬品）には、同じ成分・同じ効き目でも、価格の高い薬と安い薬があります。高い方の薬は「新薬（先発医薬品）」と呼ばれ、安い方の薬は「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」と呼ばれています。

高齢者などの

避難支援計画とは

問

総務省の求めに応じて、災害時に

援護が必要な高齢者らの避難支援計画を提出しているが、関係機関で十分な協議をしたのか。また、計画の具体的な内容は。

答

杉山総務課長
関係機関との協

議はできていない。

この計画は全体計画であり、一人暮らし高齢者世帯の把握、緊急連絡先の情報整備、災害時の対応などが主な内容である。

地域包括支援センターでは、要援護者の支援を迅速・的確に行うよう努めている。

問

災害時における、人命救助と個人情報保護の両立は可能か。

答

定本町長

町で把握している情報を事前に公表することはできないが、災害時には該当する地区の人に連絡して対応する。

美咲町警報基準の

変更とは

問

警報・注意報の細分化に伴い、美咲町の警報基準はどう変更されたのか。

答

杉山総務課長

町の地形や過去の災害により流域雨量指数基準、土壌雨量指数基準などが変更された。

問

防災協定の締結は怎么样了っているか。

答

形井副町長

建設業協会との間で、近日中に防災協定書の締結ができるものと考えている。

問

災害時における内水対策は、今後どう取り組むのか。

答

定本町長

柵原地域に19カ所の樋門があると認識しており、藤原・久木・小瀬地区へは下水道事業で35年までの整備を計画している。過去の災害での内水被害も承知しており、強い関心を持って行っていく。

質問

提案型まちづくり

事業の詳細は

7月に再度説明会を

実施する

答弁



松島 啓 議員

問

町内に13ある協働のまちづくり自主活動組織を対象に、斬新なアイデアと創意工夫による、にぎわい創出事業などを募り、交付決定する『美咲町提案型まちづくり事業』の詳細は。

- ①事業の目的、効果は。
- ②13の組織へ説明は十分しているか。
- ③交付決定までの手順と決定方法は。
- ④各種団体へも交付対象を広げるべきではないか。

答

定本町長

本年度の新規事業として、百万円の予算で、二つの事業を限度に交付決定するもの。

- ①旧村単位の自主活動組織が新しい発想で、自主的に行う事業に支援し、まちの活性化とにぎわい創出を促進するための事業である。
- ②4月と5月に事業の概要は、説明している。7月に、もう一度説明会を行う。
- ③7月中に計画書を提出していただき、8月中に交付決定したい。

審査は、公平性を期するため町外の約五人にお願いする。

- ④本年度は13の自主活動組織を対象とし、成果を検証して、来年度に対象を広げていきたい。

問

住民の提案を制度化する事業として意義がある。一過性のイベントで終わるのではなく、地域それぞれ

の課題を解決するきっかけになるよう、町からも提案していくべきではないか。

答

定本町長

地域それぞれの特色を生かした計画を出していただき、『住んでいてよかった地域づくり』を支援していきたい。

みさきネット

今後の展望は

問

18年度から告知放送、インターネット、ケーブルテレビ、IP電話（町内無料）を整備。21年度末には、ライブカメラも町内12カ所に設置し、防災・防犯、観光にと活用が期待される。みさきネットの今後さらなる充実を望む。

- ①町のホームページは、最新の情報を毎日更新できないか。
- ②新番組の農業情報を伝える『ええ農みさき』は、わかりやすく評判

が良い。

町民参加の番組編成を企画してどうか。

- ③告知放送とホームページおよびみさきチャンネルとを連携し、戸籍の動きなどの情報をテレビのデータ放送で見ることができないか。

答

遠藤情報交通課長

- ①ホームページの更新は、各課から情報が入り次第行っている。
- ②現在、町のニュース、

防災・防犯情報、営農情報、NHK大河ドラマなどを放送している。また、地域レポーターとして町民にボランティアとして登録してもらい地域のイベントなど投稿映像として放送している。

- ③できる限り連携して情報発信しているが、戸籍の動きは、休日に入力ができないので難しい。



新番組「ええ農みさき」は評判ええなあ（みさきテレビ）

質問

子宮頸がん予防は
最優先で9月定例会に
事業費を提案する

答弁



金谷高子 議員

は、現在百八十一人の女子生徒がいる。子宮頸がんワクチンの接種には、一人四万五千元が必要となる。

将来ある命を守るためにも前向きに検討を重ね、9月定例会には予算計上できるように準備を進める。また、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンは医師会と協議しながら環境を整えていく。

問

3月定例会の一般質問で子宮頸がんワクチンの議論を行ったが、わずかの期間に多くの市町村がワクチンへの公費助成を決定している。

また、細菌性髄膜炎（ずいまくえん）ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンも同様の動きがある。予防により発症を防ぐことができるのであれば、最優先で取り組むべきではないか。

答

定本町長
町内の中学校に

人間ドック拡充の
計画は

計画は

問

人間ドックの募集定員は二百人だが、定員を超える申し込みがある。何度申し込んでも受診できないとの声があるが、募集

人数の拡充はできないか。

答

福田保健福祉課長
人間ドックには国・県からの補助がないため町国民健康保険の単独事業で一人一万五千元を助成している。今後も先着順の方法を続けていく予定である。

答

定本町長
人間ドックの受診ができない人には、7月から行う特定健診などを利用してほしい。



この笑顔をいつまでも！

い。昨年までは千五百円の健診料金を徴収していたが、今年からこれを無料にし、受診率を上げていく。

また、来年度は人間ドックへの助成を一万円にして、定員を三百人に拡充したいと考えている。

前立腺がんへの
対応は

対応は

問

男性特有の前立腺がんは、近年拡大の一途をたどってい

る。町の対応はどうなっているか。

答

村島健康増進課長
前立腺がん検診は、セット健診で実施している。21年度で検診の結果、四人が前立腺がん治療につながった。

検査は採血だけで済み、個人負担も四百円程度となっているので、今後も積極的な受診勧奨を行っていく。

在宅介護に
もっと支援を

もっと支援を

問

介護度の高い非課税の人には、一万円のおしめ代が支給されているが、在宅介護をされているすべての人に、支給対象を広げるべきではないか。

答

定本町長
他の事業を廃止しないと財政上難しい。継続審査をしたい。

質問

微量PCB処理施設

への対応は

環境保全協定を結び

安全を確保

答弁



松田英二 議員

問

PCB（ポリ塩化ビフェニル）と

呼ばれる化学物質が、人体に悪影響をおよぼす恐れがある。これを重く見た国は新たな法律を制定し、PCB廃棄物処理計画を策定した。

町内のエコシステム山陽(株)は、国の計画に沿って微量PCB廃棄物进行处理すべく、中間処理施設の設置を進めている。

施設設置の許認可権限は県にあるとして

も、町として住民の安心感を確保する毅然とした対応を強く望む。



工事が進む新処理施設（吉ヶ原地区）

答

赤堀上下水道環境課長

施設周辺の地区から提出された要望書の内容を、町の意見書として県に提出している。また、当該企業と町との間には「環境保全に関する協定書」を締結しており、この内容に沿って住民の安心と安全を守っていく。

答

定本町長

県に対しては▽地元関係者への定期的な事業説明▽関係法令に基づく維持管理の徹底▽周辺地域へおおよぼす生活環境の保全などについて指導徹底を強く依頼している。

今後10年間の実施計画策定が必要

問

美咲町振興計画の内容は、合併後5年を経過した現在の情勢とはそぐわない内容となっている。今後

地方交付税の減額が見込まれている中、福祉、教育、産業、生活基盤などの重要政策をどのように運営していくかの指針となる振興計画の見直しと、今後10年間の財政計画を盛り込んだ実施計画の策定を早急に行うべきである。

答

定本町長

今年度から過疎地域自立促進計画が6

年間延長される。町の重要政策は、過疎債の活用が最も望まれるところであるため、まずは過疎計画の策定を行い、それに沿った運営を実行していく。

幼児教育の将来像を描け

将来像を描け

問

国は、幼稚園と保育園両方の役割を果たす「認定こども園」を制度化した。幼

保の一元化、一体化に加えて連携型という新たな選択肢が確立されているからには、保育に欠けない子どもも含めた幼児教育の将来像を描くべく、審議会を組織して検討を行い、より細やかな子育て支援策を行うべきである。

答

泉教育長

美咲町では幼・保一元化政策で、保育園に統一して就学前教育を行っている。今後この形を継続する。

質問

JR津山線踏切整備
は長年の課題県、
関係機関に

協力を要望する

答弁



江原耕司 議員

問

美咲町内を走る
JR津山線には▽
小原▽小原駅第一▽鏡
屋敷▽表木下▽加美小
学校前▽諏訪坂▽新城
口▽越尾口▽萩ざこ▽



改善が望まれるJRの踏み切り（原田地内）

行実下など10カ所の踏切が設置されている。

いずれの踏切も道路の幅に比べて踏切の幅が狭くなっており、いつ事故が発生しても不思議ではない状態が長年続いている。

県道大戸上中央線の新城口踏切は、道路が拡幅されたため交通量が増加している。また、行実下踏切も美咲ファームへの通勤車両が増加している。

これらの踏切拡幅工事について、JR西日本に町から強く要望すべきである。

答 池本建設課長

美咲町内のJR津山線には、警報機・遮断機のついた第一種踏切が10カ所、何もついていない第四種踏切が2カ所設置されている。

踏切一つの幅を広げる場合には、別の踏切を廃止しなければならぬというJRの取り



踏み切りがせまい！（打穴中地内）

問

幅3メートルの踏切を5メートル

決めがあるため、容易にはできない。できたとしても施設撤去費、警報機などの移転費、設計費、工事費など五千万円から一億円の費用がかかり、そのほとんどを町が負担しなければならぬ。

新城口踏切は県道のため、県など関係機関に要望していきたいと考える。

答

定本町長

費用の話もあるが、一つの踏切を広げるために別の踏切を廃止するとした場合に、廃止される地域の意見を尊重しなければならぬということも考慮する必要がある。

質問

行財政改革

今後はどうする

あらゆる努力を

続けていく

答弁



貝阿彌幸善 議員

問

美咲町行財政改革大綱の計画は21年度末で終了しているが、22年度以降の大綱は策定するのか。その際、行財政改革審議会の委員構成、行政評価の仕組み作りは考えているか。

答

難波企画財政課長

総務省の通知で17年度から21年度までの5年計画で行財政改革大綱を策定し、これを基に集中改革プラン・実施プランを策定した。

答

定本町長

最終年度の21年度までに、総務省から継続の指示がなかったため、行財政改革審議会の設置・改革大綱の策定はできていない。集中改革プランに基づいて、コストと成果を重視する行政評価を行うことにしている。

行財政改革審議会委員会は設置要綱によると、審議が終了時点で解散となっている。歳出削減も大切であるが、交付税の減額を見越した歳入の積み上げも大切であり、遊休地の売却を数力所検討中である。今後も、行財政改革を進める仕組み作りは必要と考える。

問

財政健全化の推進で公共施設の管理運営、第三セクターと地方公営企業の効率的な運営等の検討は進めているか。

答

難波企画財政課長

財政健全化の推進とは▽財源の確保▽受益者負担の適正化▽町有財産の有効活用▽事務事業の見直しによ



地方の自立には行財政改革断行が急務（監査委員が調査中）

る諸経費の徹底した削減▽公共施設の管理運営▽第三セクターの管理運営▽地方公営企業の経営健全化などが上げられるが、補助金・負担金の削減、指定管理者制度の導入など、財政健全化に向けたあらゆる努力が続けている現状である。

質問

50人委員会の意義は

町民の意見を

反映させる

答弁

問

五十人委員会の中に10人の行財政改革担当が編成されていると聞くが、対応は。

答

定本町長

財政改革担当部会では▽補助金▽集会所では▽みさきネット▽施設▽みさきネット▽町分譲地▽美咲霊園▽特別会計のあり方について意見が出されている。10月末に部会で取りまとめ報告される予定だが、委員会の意見を参考にして次年度の行政運営に反映させたい。

質問

多額の寄付金

活用方法は

基金として教育

福祉に役立てる

答弁



岩野正則 議員

会長らで審議会を組織して検討していく。



地域再生は空き家の有効活用から

問

故富田泰司氏からいただいた多額の寄付金は、今後どのように活用するのか。学校施設の危険箇所への点検・修理なども、活用方法の一案として考えられるが。

答

定本町長

富田泰司教育福祉振興基金として条例を制定し、本人のご遺志により教育・福祉の分野で有効に活用する。方法は、3地域の学識経験者三人と教育委員長、社会福祉協議

質問

空き家調査の結果は

まとまったか

答弁

活用できる情報はまだない

問

町内の空き家調査に取り組んでいたが、状況はどうか。今後の計画は。

答

定本町長

257件の情報があったが、情報公開について持ち主の了解が得られたものはまだない。柵原地域の調査を終了し、今年は中央地域・旭地域の調査を

問

空き家情報を、産業支援係による地域再生に向けた取り組みと結び付けることを検討できないか。

答

定本町長

本年度から、産業観光課に産業支援係を配置した。空き家情

答

矢木産業観光課長

報もからめた田舎暮らしの応援、商工業の支援を考えていく。

問

公共料金は

値上げするのか

上下水道使用料、国民健康保険料、介護保険料、みさ

答

赤堀上下水道環境課長

きネット利用料などの今後の見通しは。下水道料金の値上げは考えていないが、水道料金は県の指摘を受け、25%程度の値上げを検討している。

答

定本町長

みさきネットは現状で維持したい。介護保険料は、施設の増加が影響して、24年度以降は値上げが予想される。

問

特別会計の運営は、小規模自治体では制度に無理がある。国・県の制度として、広域化に向けた働きかけを行うべきである。

答

定本町長

国民健康保険料は県全体で広域化の方向が出ている。今後も財政健全化に努力していく。

質問

集団検診受診率 アップの対策は

特定検診の受診料金を無料にする

答弁



草薙良明 議員

大腸がん、前立腺がん、肝炎ウイルス検査、生活機能評価、若年検診を愛育委員の協力を行って行っている。本年度

答

定本町長

7月の特定検診

からは、検診終了後に未受診者に対して、郡内医療機関で個別検診を進めることにしている。

問

児童虐待の防

止、青少年の健全

育成などの窓口となる

児童福祉司の役割が、

担える職員の育成が必

要ではないか。

答

形井副町長

町では児童福祉司の役割を、子育て支援地域協議会・要保護児童対策地域協議会を設置して対応している。

教育委員会とも協議しながら健全な子ども

の育成に努めている

が、やはり地域の活動

を通じて見守っていく

のが一番だと思う。

問

子どもの健全育

成を願う上で、病

気を予防する各種のワ

クチン接種は避けて通

れない状況である。今

後の方針はどうか。

答

定本町長

各種ワクチンの供給が整い次第、環境整備を進めていく。

米戸別所得補償

制度の周知徹底を

問

この制度は、22

年度の営農計画書

が提出されていないと

交付金を受けることが

できない。町とJAが

協力して書類が未提出

となっている農家に、

期限いっぱいまで指導

を徹底してもらいたい。

また、中山間地域直

接支払事業についても

細心の指導を。

答

矢木産業観光課長

米の販売農家

で、食用米10アールを

差し引いた作付面積に

10アール一万五千円を

掛けた金額が補償され

るが、共済加入者また

は販売実績が必要とな

る。

6月から戸別に電話

連絡で対応している。

農家の不利益にならない

ように心がけていく。

答 村島健康増進課長
集団検診は町内18会場で特定検診、胃がん、結核、肺がん、



みんなで検診に行きましょう！

質問

協働のまちづくりには
条例が必要交付金要綱での対応が
望ましい

答弁



小島洋征 議員

問

協働のまちづくりについて、3月

議会では5項目提言をしたが、今議会では次の3点に対して、町長の考えを聞きたい。

①事業の推進に当たり、行政と住民のすみ分けを担う条例を早急に進めるべきではないか。

②事業に参画する住民の皆さんには、危険を伴う作業もお願いしなければならない。地域に対して、百万円のニンジンよりも、縁の下の力持ちとして、全世帯に傷害保険を、という考えはどうか。

③総合支所に担当者を置くとのことだが、住民説明の際、食い違いがなく機能できるのか。

答

定本町長

協働のまちづくりの基本は、住民の自主的な活動である。

①地域ごとの認識に温度差がある状況なので、条例制定ではなくまちづくり交付金要綱で対応したい。

②全世帯に傷害保険をとのことだが、百万円は、地域の活性化に資するものと理解してもらいたい。

③支所に担当者を置くことで、地域事情に合致し対応ができる。食い違いが生じるとは思わない。

問

ニューピオーネ

ピオーネへの補助率拡大を

圃場整備に対する実質的な補助率が3分の1程度に落ちていく。補助率を50%にして面積を50ヘクタールまで拡大すれば、ブラ

ンド力も強化されるのではないかと。また、共同選果場の整備も必要ではないか。

答

定本町長

現段階では、耕地面積を2倍にするのは難しいのではないかと。

それよりも、美咲のブドウを消費者に覚えていただくことが大事である。今議会にブドウ用ケース2万個の予算を計上しているが、これに宣伝文を入れて、全国に発送すれば、付加価値が上がり、ブランド力が強化されると思う。

共同選果場は状況を見ながら検討したい。

答

矢木産業観光課長

18年度から「濃農クラブ」を結成して、本年度も二十人ほどが研修に参加している。

ピオーネ産地化への取り組みと理解してもらいたい。

特別支援学級の

充実を望む

問

特別支援学級に通う子どもが五十

六人と増加傾向にある。障害のある子どもに対して、美咲町は積極的に取り組んでいると思うが、さらに取り組みを強化する必要があるのではないかと。

答

泉教育長

5年前と比較した場合1.5%以上の割合で特別支援を要す



今年も豊作が期待される“美咲ぶどう”

る子どもが増えている。財政面では厳しい状況にあるが、しっかりとした応援をしたい。

答

村島健康増進課長

3歳児健康診査の受診率は現在73%だが、あらゆる方策をとって障害の有無の全数把握に努めたい。

療育体制の方向づけと共に、保育園と小学校とのより密接な連携の必要性を強く感じている。

質問

子宮頸がんワクチン
に早期助成を

本年度と来年度予算
で対応する

答弁



梁山朝子 議員

問

3月定例会での
子宮頸がんワクチ
ン公費助成の質問以
降、4月には40自治体
が公費助成を決定した
との報道がなされ、全
国的に急速な広がりを見
せている。

本町においてもワク
チン接種への早期助成
を期待する。

答

定本町長

現在の中学校女
子生徒百八十一人は、
9月補正予算にワクチ
ン公費助成の事業費を
計上して提案していく。

問

小学校六年生女子児
童には、来年度予算で
対応する。
女性特有のがん
に対する成人女性
への啓蒙活動も重要で
ある。対策はとれてい
るか。

答

村島健康増進課長

今、若年女性の
発症が多いため保健
師、愛育委員を通じて
受診勧奨を行い、受診
率を高めて早期発見、
早期治療に努めている。

質問

柵原地域の保育園
将来構想を早急に

実現に向けた
取り組みを検討する

答弁

問

藤原保育園で
は、0歳児保育が
実施されていない。実
施するとしても、施設
の拡張が難しい。とな
れば、柵原西・東保育
園を含めた将来の構想
について審議会を設立
して検討を行い、早急
に対応すべきであるが。

答

定本町長

柵原地域全体の
まちづくり構想の中で
保育園の将来像を探っ
ていきたいと考えてい
る。現在の3園が良い



どうする？柵原地域の保育園

問

テレビは高齢者
の楽しみの一つで

高齢者のみさきテレビ
利用料を無料に

か、2園が良いか、定
員規模は、設置する場
所は、職員数はなどの
課題について実現に向
けた取り組みを真剣に
検討していく。

答

定本町長

ある。みさきテレビの
利用料金を無料にでき
ないか。
特定の世代にだ
け無料とすることは、
不公平感を助長する。
ご理解を願いたい。加
入率が高くなれば、あ
る程度の減免は可能と
思われる。

質問

結婚推進の方策は 行政の急務

結婚推進員より

イベント重視

答弁



岡田 壽 議員

問

町内で結婚を望む男女が、かなりの数に上っている。結婚の推進方策は急を要する。

これまでに、美咲流ふれあいの場を設定し、結婚を推進してきた。しかし、その成果に疑問を感じる。
町では本年「ふれあいの場」を設定するが、内容はどうか。
真庭市には結婚推進員制度がある。町でも必要と考えるが。

答

定本町長

合併後、津山圏域では結婚相談員制度の成果が上がっていないとの理由で公的には廃止された。これとは別に私設で結婚相談を受け、成果を上げている話も聞いている。

町では、今年秋ごろに出会いのイベントを開催する。青年協議会や商工会などと連携して企画したいと考えている。
今まで町内の申し込みが少ないので、参加しやすいシステムを考案していきたい。

答

矢木産業観光課長

出会いイベントの企画は、青年協議会を中心に内容・方法



少子化対策には結婚の推進から

問

出会いふれあいの場への参加も少なく、成果も上がっていない。原因としてイベント内のマナー、話題への不安があるのではないか。参加者には結婚活動のセミナー（講習会）が必要である。ふれあいの場も一回ではなく同じメンバーで再々開催すれば効果があると思うが。

少子化対策には結婚推進が一番である。

答

定本町長

婚活セミナーの開催も良いが、ふれあいの場へ参加する意志も必要。

本人の自覚、家族の支援もありイベントにも参加できると考える。難しい問題である。

質問

イベント参加への講習会が必要

本人の意志・自覚が何より大事

答弁

議会を傍聴して

6月定例会の一般質問（6月15日、16日）には大勢の人が傍聴に来られ、気付かれたことについてご意見をお伺いしました。紙面の都合上39人中11人の声をお届けします。

❀ 質問者の趣旨がわかっていないのに、回答者が前もって決定、直ちに回答すべきで、また机に置かれた書類の読み上げで下を向いたままである。議場にいる人全体を意識されたい。

（中略）高齢者にやさしい行政を今後とも進めてほしい。

（60代女性）

❀ 全体に質問者も答弁のほうも声が小さく聞いていて意味もわかりにくい点があった。質問者も答弁者も研究し、要領よく発言できたら、時間もスムーズに運べないかと思う。

（70代女性）

❀ AEDの使い方の指導を時あるごとにしてもらいたい。

（60代女性）

❀ 答弁する担当課長が、質問に対して十分答えることができない場面が気になり

ました。職員の人事異動が頻繁に行われたため、それぞれの課の仕事が十分理解できていないのでは。

（60代男性）

❀ 質問内容の中に「障害を持った」との言

がしつかり配慮して、「障害のある人」という言い方が適切なのではないか。

（60代男性）

❀ 発言者はそれぞれの席へ出入りの際、もう少しお辞儀がきれ



熱心に聞きいる傍聴者の皆さん

い方があるが、国会議員を始め、多くの言葉の中でこれが見受けられる。人権という面から考えると何も障害を持つて生活しているのではないので、多くの人々

いにできたらピリッとするとあります。（きちんとできている人もいますが。）

（70代女性）

❀ 初めて傍聴しましたが、なごやかな議会のように感じまし

た。何人もの人が手を挙げられ、ちよつとだけびつくりしました。それに議長さんいろいろな発言されるのですね。初めての傍聴でいい経験をしました。また傍聴したいです。

（70代女性）

❀ 入札のこととか、町内の業者の優先とか、保健、薬の話とか、身近な話でよかったですが、チェックを再度するところとは私も感じることもあったように思います。

（60代女性）

❀ 議会だよりで時々わかったつもりでしたが、生で聞くとより納得でき、来てよかった。（60代女性）

❀ 議会傍聴は初めてでしたが、なごやかな雰囲気があり、質問も答弁もわかりやすかった。せっかくの議会なので、もっと

町民の方が傍聴に来られてもよいと思います。（テレビで放映される関係でしょうか）機会があれば、皆さんに傍聴を勧めたいと思います。

（70代女性）

❀ 戸別所得保障制度の発言を聞き、私も3反余り田植えをしました。2反ほどの交付金がもらえることを知りました。私たちの地域でも、このような話しを知っている人は少ないと思います。

今日の傍聴をさせていただき、一つよい勉強をさせてもらいました。皆さん、とても真剣に発言され、また気持ちのよい雰囲気の中で議会が進められていたように感じました。ありがとうございました。

（70代女性）

議会行政視察とは

議会行政視察は、議員が他の自治体が行っている施策を直接把握することにより、議員本人の専門的な知識の向上はもとより議会全体のレベルアップを図り、行政の適切な運営を確保するために行うものです。

産業建設常任委員会

行政視察の報告

産業建設常任委員会の検討課題である産業振興についての視察・研修を行うため、4月15日～4月16日に広島県世羅町・広島県三次市作木町を訪問した。

芝桜で地域おこし

◆花夢の里ロクタン (広島県世羅町)

広島県世羅町には、「花夢の里ロクタン」の名称で知られる芝桜公園が整備されている。ロクタンとは6反のことで、開発当初の面積から名付けられた。入場料は七百元、毎年4月から5月にかけて芝桜が見事な花を咲かせ、口コミで年々観光客も増加している。この公園は以前は葉タバコを生産していた

土地を、葉タバコ協同組合の有志で開墾して作られたもので10年に完成した。



もうすぐシーズン到来。芝桜でまちおこし

芝桜は管理が大変難しい植物で、連作障害、日々の散水、追肥、草刈など気の休まる時がないとのことであった。観光客に対しては、駐車場の整備、警備員の配置、簡易トイレの

宮崎県から取り寄せた芝桜を法面に植栽し、年々植え付け面積を増やしていった。

設置などに四百万円程度の経費が必要となる。今後の課題は1年間の経費を約2カ月間

の営業で賄わなければならないところである。地域の有志が地域の特性を生かし、独自の視点で事業の展開を図っている状況は学べきものが多くある。

カヌーで 地域おこし

◆江の川カヌー公園作 木 (広島県三次市)

広島県三次市旧作木町は、平成の合併で三次市に編入合併された。旧作木町の人口は約千九百人で高齢化率は50%の中山間地域。中国地方一の大河である江の川を使った地域おこしとして考えられたのが、「江の川カヌー公園作木」である。8年に国土交通省、中国電力などの協力を得て、十億円の事業費で5年間をかけて整備した。管理・運営は、地元

企業がメンバーとなつて設立したNPO法人・作木振興会が担当し、三次市から千八百万円の管理費で指定管理を受けている。

公園周辺にはコテージなどの宿泊施設、オートキャンプ場、リーパーキャンプ場などアウトドアエリアが併設されており、公園を含めた年間の利用者数は約五千人にも上るという。

今後の課題は、地元漁業協同組合への対応、川の水位の増減、指導員の確保、公園を中心とした地域活性化への対応などが挙げられる。

本町においても、町内には旭川・吉井川の二大河川を要していることから、この河川を利用した地域おこしが、地域活性化の原点となることを期待するところである。

民生教育常任委員会 行政視察の報告

民生教育常任委員会
の検討課題である福祉
の充実についての視
察・研修を行うため、

4月21日～4月22日に
広島県神石高原町役
場・広島県尾道市みつ
ぎ総合病院を訪問した。

廃校跡地の活用

(広島県神石高原町)

◆世代を超えたふれあ
いの場

広島県神石高原町
は、16年11月に4町村
が合併して誕生した。
人口約一万一千人の町
で高齢化率は42%。

町の高齢者入居施設
は、介護度を問わず必
要に応じて住居を提供
する生活福祉センター
が2施設(20室)、グル
ープホーム3施設(46
室)。民間施設は、ケア

ハウス、グループホー
ム、老人保健施設、特
別養護老人ホームなど
がある。

また、旧県立病院が
介護療養型医療施設町
立神石高原病院となっ
て医療の充実も図られ
ている。

特に参考となったの
は、廃校となった中学
校の跡地をリニューア
ルし、地域総合福祉施
設として活用されてい
ることである。

中学校の跡地利用に
関して住民にアンケー
ト調査を実施した結
果、圧倒的に老人福祉
施設という意見が多く
その要望に応えたも
の。外観は3階建ての
校舎であるが、中に入
ると学校だったとはと
ても思えないほど見事
に改修されている。
1階は乳幼児保育事

業(託児所)、放課後児
童クラブ。2階から3
階は高齢者居住施設が
あり現在十五人が生活
している。

施設運営は、配食サ
ービスは民間企業に、
託児所と高齢者居住施
設は社会福祉法人に委
託されている。また、
放課後児童クラブは、
地元のシルバー人材セ
ンターに委託されてい
るのには少し驚いた
が、うまく運ばばお互
いに大きなメリットが
あると感じた。

本町の施設跡地利
用、福祉施設計画にも
大いに参考となる施策
であった。

医療・保健・福祉・ 介護の連携

(広島県尾道市)

みつぎ総合病院)

◆地域包括ケアシス
テムの構築

広島県尾道市旧御調
町は、17年3月尾道市
に編入合併された。
旧御調町の人口は約
七千七百人で高齢化率



リニューアルされた福祉施設を見学

は29・5%。

公立みつぎ総合病院
には医療・保健・福
祉・介護の分野をすべ
て連携・統合する「地
域包括ケアシステム」
が構築されており、全
国的にも有名な高齢者
福祉の先進地である。

昭和40年代の御調町
では、介護力不足、不
適切な介護、不適切な
住環境、閉じこもり生
活、医療・リハビリの
中断などによる「つく
られた寝たきり」が頻
繁に発生した。これを
解決するため出前医
療、訪問介護、訪問リ
ハビリを開始した。

また、みつぎ総合病
院に保健福祉総合施
設、保健福祉センター
を併設して行政機関、
社会福祉協議会などを
入居させることによつ
て医療・保健・福祉の
連携・統合に成功し
た。これが地域包括ケ
アシステム構築の背景
である。結果、寝たき

りの高齢者は30年で3
分の1まで減少した。

中でも保健福祉総合
施設は、介護老人保健
施設、特別養護老人ホ
ーム、デイサービスセ
ンター、リハビリテー
ションセンター、ケア
ハウス、グループポー
ムが配置された文字通
りの総合施設。そこで
働いている七百人は町
の人口の約一割であ
り、雇用の確保にもつ
ながっている。

施設の整備・充実も
さることながら、何よ
りも保健・医療・福
祉・介護すべての分野
で、つなぎ目のない連
携体制やサービス提供
システムが構築されて
いることに驚きをかく
せない。

本町も制度としては
構築されつつあるが、
さらに踏み込んだ各
分野の連携、システム
の構築が必要であると
強く感じた。

総務常任委員会

行政視察の報告

総務常任委員会の検討課題である行財政改革および生活交通のあり方についての視察・研修を行うため、5月

24日～5月26日に兵庫県篠山市役所・新潟県長岡市山古志地区のNPO法人を訪問した。

行財政改革

（兵庫県篠山市役所）
◆合併後10年を経た再生計画

生計画

兵庫県篠山市は、全国でも最も早い11年4月に4町が合併して誕生した。合併に対する期待感の高まりから、それぞれの町が抱えていた課題解決に向けた都市基盤整備に二百十億円の合併特例債が活用され、中学校・市民センター・図書館・運

動公園・清掃センター・下水道などのインフラが合併当初から続々と整備されていった。

その結果、起債残高はどんどん膨れ上がり公債費が年五十億円を超える状況となり、さらに合併後10年を経過した22年度以降は、合併特例である地方交付税も段階的に減額され、極めて深刻な財政状況に直面することになった。

この状況を打開するため19年に市民参加による「篠山再生市民会議」が組織され、さまざまな観点から財政改革が議論された。

委員は、大学教授二人・市内学識経験者三人・公募で選ばれた市民九人、副市長一人の十五人で、月1回のペースで委員会が開催さ

れた。

会議の内容が全面公開となったため新聞などで大きく取り上げられ、回を重ねるごとに市の財政事情が市民に浸透し、20年秋の答申時には市民の感覚も大きく変わった。

委員会から提出された答申を基に▽職員数の削減▽職員給与の削減▽補助金の削減▽物件費の削減▽議員報酬の削減などすべての歳出を例外無く削減するという市民全員が痛みを分かち合う「篠山再生計画」が策定され、現在も努力が続けられている。

本庁においても徹底した情報公開が必要であると感じた。

生活交通のあり方

（新潟県長岡市山古志地区のNPO法人）

◆住民主体の生活交通

体制の確立

16年に発生した新潟県中越大地震により多くの人たちの生活基盤が崩壊した。最も大きな被害を受けたのが新潟県長岡市山古志地区（旧山古志村）。国を挙げての復興作業で地域再生が進み、現在約千四百人の住民が生活の基盤を再生させている。

しかし、震災を期にそれまで運行していた路線バスが廃止されたため、生活交通を確保することを目的とした「生活交通協議会」を地域住民が主体となつて設立、協議が行われた。

協議の結果、住民全世帯が会員となり「NPO法人・中越防災フロンティア」が運行する会員制無料バス「クローバーバス」の運行が決定した。一世帯年額五千円の会費と、賛助会員から年額三千円の会費を集め、震災復



クローバーバスの研修をする総務委員

興基金からの補助金約二千万円を活用して運営が行われており年間の事業費は三千四百万円。

運行している4台のバスは震災復興基金補助金で購入し、運行主体はバス運行共同企業体（地元タクシー等の企業）が担当しているため、事業費の大半はこのバス運行委託料が占めている。

住民全員が会員とな

るNPO法人の設立は、大震災を経験した人たちだからこそできたことかもしれない。生活交通は地域で生きていくためには、絶対に必要なものであるという住民の強い意志と、企業をも巻き込んだ地域の連携があれば、本町においても、新たな生活交通の確立が実現可能ではないかと思われる。

組合議会からの報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織。

津山広域事務組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

7月9日、臨時会を開催し、監査委員の選任など1議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野・奈義・勝央・久米南・美咲町)

7月9日、臨時会を開催し、美作地区3消防本部消防通信指令事務協議会規約など4議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎消防ポンプ自動車を1台購入。
二千七百六十六万円

津山農業共済

事務組合

(津山市、鏡野・久米南・美咲町)

7月9日、臨時会を開催し、条例一部改正

など3議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護老人ホーム組合

(吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)
6月28日、臨時会を



3月末に20室(全個室)が増築される吉井川荘(吉ヶ原地内)

開催し、22年度一般会計補正予算二百五十八万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎特別養護老人ホーム吉井川荘増築工事

(20床増床)の入札が実施され、小倉組(岡山市)と二億六千四百四十万円で契約した。

久米老人ホーム組合

(静香園)

(津山市、久米南・

美咲町)

7月26日、臨時会を開催し、22年度一般会計補正予算七百四十八万円など6議案を審議、全会一致で可決した。

議、全会一致で可決した。

熊本県

玉名市議会から議員8人が

視察で来町

議会広報編集特別委員会では、昨年から「議会だより」編集方法についての視察・研修を受け入れている。

平成22年7月12日には、熊本県玉名市から市議会広報編集委員8議員および事務局職員1人が来町された。

1人での受賞作品の中から美咲町を研修地にえらんだとのこと。資料をもとにそれぞれの広報編集方法の説明を行い、2時間におたつて熱心な質疑応答が行われ、議会だよりが持つ重要性の認識を新たにし、双方の発展を期して終了した。



活発な意見がぞくぞく (広報編集委員会)

町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第9回
元気の秘訣はここにあり

江与味 傘おどりグループ



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループとご連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

平成9年から始めて、今年で13年を迎えました。

どのような活動をしていますか

毎週土曜日の練習は、欠かしたことはありません。
町内・外のイベント出演と介護施設への慰問などを行っています。

メンバー構成は

平均年齢60?歳(気分は20代)の女性11人で、
おしゃべりに花の咲く楽しい仲間たちです。

今後の目標は

いつまでも、わきあいあい、踊りを続けていきたいです。

最近うれしかったことは

11月7日に開催される国民文化祭の津山(鶴山)
会場に出演が決まったことです。衣装も新調し、練習も一段と熱が入っています。『元気な岡山県、やる気的美咲町』をアピールしようと「燃えろ岡山音頭」を踊ります。

議会だよりは読んでいますか

毎回、読んでいます。難しい言葉もありますが、全ページ、目を通しています。

議会にひと言

地域が元気になるよう、頑張ってください。

いつまでもこのパワーと若さで地域に活力を与えてください。

編集後記

みさきテレビで防災カメラの映像が放映されていることをご存知でしょうか。24時間いつでも、町内12カ所に設置されたカメラに映し出される状況を見ることが出来ます。

これからの季節に災害のないことを祈るばかりです。注意報・警報への気配りはもちろんのこと、普段から避難場所、連絡方法などの確認をしておきたいものです。

編集委員も2年目を迎えました。「住民の声を町政に」という初心を忘れず、分かりやすい議会だよりを心がけていきます。皆様からのご意見をよろしく願います。

(岩野記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

岩野 正則

金谷 高子

草苅 良明

松島 啓